

映画で知ろう！移民・難民 III

ドキュメンタリー映画を通じて、現在、入国管理センターで長期収容を強いられている人びとと、第二次世界大戦後にフィリピンと中国に残留を強いられた人びとの証言に耳を傾けてみましょう。いずれも会場は静岡市地域福祉共生センター「みなくる」で、上映後に映画監督から解説をいただきます。

「おもてなし」の国、日本——？

収容者たちから語られる胸を突く言葉の数々

この国の「偽りの共生」が暴かれる



公式 HP

【第1回】2022年11月5日（土）

「牛久」

在留資格のない人、国外退去を命じられた外国人を「不法滞在者」として強制的に収容している施設の一つが、茨城県牛久市にある東日本入国管理センター。いわゆる「牛久」。トーマス・アッシュ監督は「隠し撮り」という手法で、面会室で訴える彼らの証言を記録し続けた。

＜解説＞トーマス・アッシュ（映画監督）

＜司会・進行＞高畑幸（国際関係学部・教授）

【第2回】2022年12月17日（土）

「日本人の忘れもの

—フィリピンと中国の残留邦人—

「私を日本人と認めてほしい！」—フィリピン残留日本人
「私は日本人。でも言葉がわからないの！」—中国残留孤児。2つの国の残留者たちを救おうとする市民たちの活躍を描きながら、私たちが生きる「日本という国の今」を浮き彫りにしてゆく。

＜解説＞小原浩靖（映画監督）

＜司会・進行＞米野みちよ（国際関係学部・教授）



■ 時間 いずれも9:15 開場、9:30 本編スタート、終了後に解説、12:00 まで

■ 会場 静岡市地域福祉共生センター「みなくる」地域交流ホール（静岡市駿河区南八幡町3-1 南部図書館 2 階）

■ 入場無料 定員：100人（先着順）

申込方法

窓口・電話・メールで【参加希望日、お名前、緊急連絡先】をお知らせください
（※メールの場合は、件名を「映画上映参加希望」としてお送りください）

静岡市地域福祉共生センター「みなくる」

TEL 054-201-9010 メール mina.crc@u-shizuoka-ken.ac.jp



「みなくる」HP